

# 千葉 あいご

Vol. 82

## Index

- ①② 生活サポート千葉活動状況（被疑者等支援業務）
- ②③ 強度行動障害支援者養成基礎研修報告
- ③ 令和4年度第2回日中活動支援部会研修会
- ④ 福利厚生委員会報告
- ⑤ 新事業所紹介
- ⑥ わが施設の自慢・アピールポイント⑩
- ⑦ 手をつなぐ作品展開催日程
- ⑧ 千葉知協トピックス
- ⑨ 事務局だより・編集後記

**第82号（2022年12月号）** 発行日：2022年12月20日／発行者：里見吉英／編集者：畠山正昭・菅谷大輔・秋山直樹

発行所：千葉県知的障害者福祉協会

[本 部] 千葉市中央区中央3-15-6 山長（ヤマチョウ）ビル4F TEL 043-224-5721 HP <https://caid-net.com/>

[事務局] 船橋市金堀町499-1 大久保学園内 TEL 047-457-2462

## 千葉県地域生活定着支援センターの 取り組み

## 生活サポート千葉活動状況（被疑者等支援業務）

### （被疑者等支援業務）

NPO法人生活サポート千葉は、2010年8月にNPO法人格を取得し、10月1日より地域生活定着支援センターを開所し、今年で丸12年が経過しました。その間に約1,000人の相談にのり、釈放された人の住まいや日中活動のコーディネート・就労支援・生活支援に取り組んできました。また、受刑中の人たちの心を支える活動にも取り組み、早くから福祉が関与すること、「やり直したい」というモチベーションのサポートをしてきました。

対象者として「知的障害またはその疑い」、「発達障害」がある人が圧倒的に多く、こうした人たちが頼る人もいない、帰る場所もない、働く場所もない状態で、罪を犯して刑務所の出入りを繰り返しています。障害者手帳や年金を取得し、福祉施設やグループホームなどを利用して本人に相応しい支援を受けることができない人は幸せです。家族も本人同様に支援が必要な場合もあり、本人の障害や発達のつまづきに無頓着であつたため、本人に合った教育を受けさせてこなかつたケースが多く見受けられます。またネグレクト、虐待を受けて養育されてきた人たちも多くいます。

定着支援センターは全国47都道府県に設置されていますが、様々な法人がそれぞれの特色を生かしてこの事業に取り組んでいます。障害者施設の団体が母体となつて運営している定着支援センターは栃木県と千葉県だけです。そのため、千葉県よりも1年前に定着支援センターを開所していた栃木県地域生活定着支援センターに視察に行き学ばせていただいたことがあります。

令和3年度より「被疑者等支援業務」という新しい事業が増え、国からの予算が付きました。数か所の他県センターでは開所まもなくから「被疑者・被告人段階にある人」の支援に積極的に取り組み、10年以上の間に多くの成果をあげてきました。そのため、特段新しく難しいことが始まったという感じはしていません。当初国は「定着支援センターの委託費は矯正施設にいる人たちの出所後の支援のために出ているもので、これから刑務所へ行く人のためのものではない。余力があればやつても良いが、被疑者・被告人の支援はやらなくて良いこと」といっていた。余力はないが、お金に色がついていく訳ではないため「余計なことに金を使うな」ということであれば、生活サポート千葉には支えてくださる皆さんからの会費や寄付収入があり、それを被疑者・被告人の支援に充てていると答えようと思つていました。それが事業化されたのは「刑務所の出口で待つて」より、入る前に福祉に何かできるはずだと取り組んできたことが認められたよううれしいことです。

定着支援センターへの支援依頼は、検察庁や弁護士会から保護観察所を経由してきます。裁判後、執行猶予や罰金刑で釈放された人の支援をするために受け入れ先として自前の部屋を持つていることはこの仕事をしていくうえでの強みです。現在、生活サポート千葉が法務省から委託され運営している自立準備ホームは4か所です。保護観察所で「更生緊急保護」の申請を

す。知的障害者福祉協会が母体となり、理事には障害者施設の理事長、施設長が就任して定着支援センターの運営をしているこの形は理想形であると感じています。

した対象者には、公費で食費と家賃相当が支給され体一つで部屋を利用できます。保護観察所と連携しながら私たちは毎日訪問し更生自立に向けた面接を行っています。

千葉県知的障害者福祉協会をバックに持つ地域生活定着支援センターは《日本一元気な職員

## 強度行動障害支援者養成基礎研修報告

### 强度行動障害支援者養成基礎研修に参加して

私は今回、强度行動障害支援者養成基礎研修に参加し、强度行動障害のある障害者支援に必要な基礎的な知識と支援方法について学びました。その中でも、私が特に重要であると感じた内容が三つあります。

一つ目はP D C Aサイクルについてです。P D C Aサイクルとは、Plan(計画)、Do(実践)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字を取った支援の手順を意味します。これらを繰り返し行うことにより良い支援となり、利用者本人にとってより良い人生を送ることが出来るようになります。また、支援を行うにあたって目で見てわかる支援を心がける必要性についても学びました。言葉での理解が難しい利用者にとって、視覚から得られる情報の大切さに気付くことが出来ました。

二つ目は水山モデルについてです。水山モデルとは、利用者本人の行動を水山の一角、行動の背景を水面下の大きな塊に見立てることで、行動を起こす背景を整理する考え方を指します。水山モデルを利用するにあたって利用者の日々の情報収集が重要なこと、整理した情報をもとに、本人の強みを活かした支援を具体化していく必要性について学びました。利用者の特

集団》として険しい道も楽しく切り開きながら前に進んでいるところです。

特定非営利活動法人生活サポート千葉  
千葉県地域生活定着支援センター  
センター長 岸 恵子

性を一つでも多く理解する為には、日々本人の行動を観察する姿勢とそれを確実に記録に残すことが大切だと感じました。

三つ目はチームプレイについてです。利用者本人には、様々な場面で様々な人が関わることで生活が成り立っています。よってP D C Aサイクルや水山モデルを活用し本人に合った支援方法を確立しても、関わる人がそれぞれ異なる支援を行っては本人の混乱を招くことになります。したがって、より良い支援を行う為には、本人の日々の様子を基に考案し、改善を繰り返した支援を、利用者本人に関わる全員で統一し提供する必要があることを学びました。

今回の研修では、障害者福祉施設で强度行動障害のある方への支援を行う職員にとって支援を行いう為の基礎的かつ最も根幹となる考え方について学ぶことが出来ました。今回学んだことを現場での支援に生かしながらスキルアップに努め、利用者の方々のよりよい生活、そして自分自身の成長にも繋げていきたいと思います。

社会福祉法人齊信会 畑町ガーデン  
水鳥川 皓一

### 强度行動障害研修を受けて

私は支援員として働き始め3年目になります。利用者様の障害特性や程度は様々でコミュニニケ

ーションを取るのが難しいことが度々あります。相手との意思疎通は取れているのか?伝えたいことを理解していただくにはどうしたらよいのか?利用者様一人一人の支援の仕方を日々、模索しています。そんな時、この研修会の話をいただき、少しでも自分の悩みが解消されればとういふ思いを抱きながら参加させていただきました。

私は今回のようない外部の研修を受けるのは初めてで、座学はもちろんグループワークでの実践演習は大変勉強になりました。グループワークでは言葉やジェスチャーのみで相手に物事を伝える演習を行いましたが、うまくいきませんでした。思い返してみると普段の私は言葉だけで伝えることが多く、それで相手も理解してくれると思つていて、実は分かりやすく伝えられておらず相手が一番困っているということに気が付けませんでした。分かりやすく目に見える物を用意するなどして、本人に合った方法で支援することが大事だと気付きました。

また研修に参加するまでは何となく理解している程度だった「强度行動障害」についても理解を深めることができました。强度行動障害の状態にある人たちは自分の気持ちをうまく訴えられない特性が強く、それを理解するためには普段の行動が重要な手掛かりとなります。利用者様の状態や行動をみて日々の細かい変化を把握していますが、改めてきちんと観察することで本人の訴えたいことだけでなく特性も理解することに繋がると思いました。また、目に見える部分だけに対応しても問題は解決しないということ。「障害特性」本人の強みや「環境状況」を整理することが適切な支援に導くものであることを理解しました。普段私自身の憶測や予想で記録しがちですが、客観的な情報を集めて、仮説に基づいて支援を考えることで本人の行動上の問題が起こりにくくなり、情緒が安定し穩



エルビザの里 外観

令和4年11月7日、日中活動支援部会第2回研修会が開催されました。まだまだコロナに翻弄される毎日で研修当日まで心穏やかではありませんでしたが、そんな不安をかき消すように参加申し込みは定員の予定数を上回り、早めの締め切りをするほどでした。

当日、駐車場前で素敵な笑顔で出迎えてくださいたのは、早い時間からスタンバイされていたと思われる社会福祉法人清輝会の職員の皆様。この日のために様々な準備をして頂いたことを心より感謝申し上げます。

エルビザの里は平成元年に開所した歴史ある施設です。建物の老朽化、居室を始めとする新法の要求規模の見直しによる建て替えに伴い、平成30年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）の採択を受けた。これまで木造先導型ということもあり、木のぬくもりが体全体



研修の様子

やかな日々の生活が送れるようになる1つの手段であることも知りました。日々の支援の方法などは日々の記録が非常に大切になり、作業や日々の成長を見ていく以外にも非常に大事であることを再認識できました。

強度行動障害研修の基礎研修を受講させていただき、支援の在り方や利用者様への向き合い

方が変わり、具体的な支援の流れを学ぶことが出来ました。これから支援に役立てていき、よりよい支援と良い関係を築いて行けるよう今後も日々励んでいきたいと思います。

社会福祉法人 南台五光福祉協会  
生活介護事業所 おおはし園  
池 田 有 希

## 令和4年度 第2回日中活動支援部会研修会

で感じられるほど、木材がふんだんに使われていました。最初に小島裕次施設長から概要説明を受けた、広く開放感のある交流スペースも天井が高く、開放感があり、木の香りが漂うと

も落ち着く空間となっていました。

居住スペースもユニットケア方式を取り入れ、各ユニット毎にリビング・ダイニング・キッチンを設ける

ことで、より生活空間として利用者が暮らしやすい住まいとなつてきました。ユニット

トは大きなガラス窓で仕切られ、中庭に面しており、光と中庭の緑を多く取り入れており、施設全体が温かい雰囲気に包まれていました。

エルビザの里の3つの特色である『個性を尊重し、個々にあつた支援を』『こころと身体の健康を応援します』『最新の設備と清潔な生活空間で快適に』が随所に取り入れられており、空調は床下チャンバーを採用



木のやさしさに包まれる生活空間

することで、床下空間自体が空調されている。ユニットに入った途端じんわりと暖かさを感じました。照明に関してはサーカディアンリズム（人の体内に宿る体内時計）に則ったストレスの最も少ない光を調節するなど、最先端のテクノロジーも活用されていました。私たち支援員が手の届かないハード面での支援に対しても、細部まで配慮がなされていました。

建て替え工事にあたっては、計画から完成まで5年近くの歳月を要したとのことで、ご本人、親御さん、そして法人職員の様々な意見を集約し、形にするまでには相当なご苦労があつたと思います。小島施設長からは、工事を二期に分けることで職員の負担も相当だつたとの話もありましたが、そのような苦労も感じられないくらい皆さんいい顔で利用者さんの支援にあたっている姿を見ることが出来ました。

今回参加した職員の皆さんは生活の場である入所施設自体を見たことがない方が多かつたですが、利用者さんの生活の場が障害特性に応じ配慮がなされていることで生活も安定するといふことを感じたようです。利用者を支援するということは利用者のことを知ることが重要になります。今回の研修では、そのことが利用者やその周りを囲むすべての人が笑顔になることを改めて感じたのではないかと思います。

小田切 紅子  
社会福祉法人まつど育成会あゆーる  
日中活動支援部会

## 福利厚生委員会報告

### 第27回施設職員交流 バレー・ボール大会



#### 見事に大会2連覇!!（ふる里学舎チーム）

前回優勝から3年ぶりの開催で果たしてどうなるか?!と思いましたが……そんな心配は関係なし!!と言わんばかりに見事大会2連覇でした。ふる里学舎はサーブで相手を崩しチャンスボールを確実にものにする試合運び!ディフェンス・オフェンス共にバランスのとれたチームであります。今後も連覇が期待できる安定した強さでした。

11月18日千葉ポートアリーナにおいて施設職員交流バレー・ボール県大会が3年振りに開催されました。コロナの影響もあり各地区から計11チームの出場となりましたが、これには各地区的幹事施設を始め出場チームには無事に開催できた事を改めて感謝致します。誠にありがとうございました。

#### 惜しくも準優勝！（大久保学園チーム）

こちらも順当な勝ち上がりで決勝まで進出しました。前回大会も同じカードでの決勝でありましたが惜しくも敗れており今回は3年振りのリベンジ!!とばかりに試合が始まりましたが……今回も惜しくも準優勝となりました。しかしながらもバランスのとれた好チーム！次こそは優勝が期待されます！



#### 大会結果

優勝  
準優勝

3位

4位  
福利厚生委員長賞

敢闘チーム賞  
中野学園

東葛地区・大久保学園・ふる里学舎松香園・  
まつばつくり

千葉地区・ふる里学舎・中野学園・  
みらい工房

北総地区・不参加  
成田地区・清郷会・菜の花会  
県南地区・ふる里学舎和田浦・みづき会  
合計11チーム

第19回施設職員交流 ゴルフ大会

第19回職員交流ゴルフ大会はコロナ感染状況により年明けの1月に開催と考えておりましたが、ここに来て1月は感染拡大が予想されるとの事で大変残念ではあります。が今年度も中止とさせていただきました。

楽しみにしていた皆さんには改めてお詫び申し上げます。また次年度に開催を考えておりますのでその際には数多くのご参加をお待ちしております。

### 第5回施設職員交流 野球大会

今年度の大会は当初夏頃を予定しておりましたが社会的に感染拡大の最中であったので開催を延期しておりました。しかし今年度は何とか開催したいと考え、年度末ではありますが3月に球場の確保ができましたので今後改めて皆さんにご案内致します。

年度末のお忙しい時期での開催となりますが多くのご参加をお待ちしております！

福利厚生委員会 委員長  
上総喜望の郷 中村敏久

# 新事業所紹介

## 社会福祉法人榎の実会 あぶらや

「地域に開かれた事業所を目指して」



あぶらや 外観

あぶらやは社会福祉法人榎の実会の多機能型事業所（生活介護10名+就労継続支援10名）として、令和4年4月に開所しました。「あぶらや」という事業所名は、地域住民にとって馴染みの深い元飲食店を活用しているため、町民に愛される事業所となるよう以前と同じ飲食店の名称を使わせていただいています。サービス内容は、建築資材の組み立てをはじめとする請負作業と各事業者様にて作業に取り組む施設外就労があります。開所当時は、作業も限られたものでしたが、今では、Tシャツのタグ付けや、化粧品のパッケージ貼り等、様々な作業を提供することができます。

直接お客様に届く商品を取り扱うため、緊張しながら取り組む利用者の姿からは、達成感と満足感を伺うことができ、支援者としても嬉しく思います。また、町内では、就労系の事業所が少ないため、見学者も多く利用者・職員の刺激にもなつ

めとする頑張っていきたいと思います。榎の実会のあぶらやをどうぞよろしくお願いします。



作業の様子

管理者 遠藤裕介  
方々と手を取り合って、利用者、職員が地域の

地点ですが、地域に開かれた事業所を目指して、利用者、職員が地域の方々と手を取り合って、利用

ています。

事業所としてはまだまだスタートしていただける場所になることを期待しています。

## T&Kデザインワークス株式会社 グループホーム天空

### 「一人の味方」

人は誰しも、道に迷い、挫折しそうになる時がある。

一人ではたどり着けそうにない出口にも、たった一人自分の味方がいれば、到達することができます。支援者としても嬉しく思います。

その「味方」を増やす活動をしたい。

弊社「T&Kデザインワークス株式会社 グループホーム天空」は、そのような思いから設立されました。主軸である不動産賃貸業の資本を元に「他のホームにはない広さ、設備、快適



オリジナル家具を配した室内

グループホーム天空 外観

入れておらず、近隣の福祉施設との交流やボランティア活動の参加なども積極的に行っています。入居者が安心して暮らすためには、スタッフが将来性を持って長く勤務できる環境の整備が必要だと考え、待遇改善加算の取得も取り組んでいます。

地域活動にも力を入れており、近隣の福祉施設との交流やボランティア活動の参加なども積極的に行っています。入居者が安心して暮らすためには、スタッフが将来性を持って長く勤務できる環境の整備が必要だと考え、待遇改善加算の取得も取り組んでいます。

天空は、「あなたの味方」になりたい。もし「誰か一緒に」と思ったときには、どうぞお声かけ下さい。あなたとの出会いを待っています。

管理者 粟田季絵

ームを運営しています。施設内では、弊社のオリジナル家具「誰でも簡単に組み立て、収納できる家具」を入居者に利用していただいているます。現在の入居者は知的障害、自閉症、身体障害の方で、日中はそれぞれの活動先へ通い、夜はホームで思い思いに過ごしています。一人ひとりに寄り添ったケアや対話を心がけており、開所から半年経った今、スタッフ、入居者ともに「天空に来て、『ありのままの自分でいい』という実感がわいてきた」と話し合っています。

さ」を兼ね備えたホ

ームを運営しています。

施設内では、弊

社のオリジナル家

具」を入居者に利

用していただいている

ます。現在の入居者

は知的障害、自閉症

、身体障害の方で、日

中はそれぞれの活動

先へ通い、夜はホー

ムで思い思いに過ご

しています。一人ひ

とりに寄り添ったケ

アや対話を心がけて

おり、開所から半年

経った今、スタッフ、

入居者ともに「天空

に来て、『ありのま

まの自分でいい』と

いう実感がわいてき

た」と話し合ってい

ます。

支援スタッフ  
から見た!

# わが施設の自慢・アピールポイント④

平成20年度から39回にわたり99の“チチ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“チチ自慢”です!

## 東葛南ブロック・社会福祉法人習愛会・花の実園

～一人ひとりの輝きを共に創り、地域と共に歩みます～



生活介護 ちぎり絵作品「捕色(ほしょく)」



花の実園 外観

「花の実園」は、習志野市秋津にある就労継続支援B型並びに、生活介護の多機能型施設です。障がい者が地域で暮らしながら通所し、誰もが社会の一員として強みを発揮しながら生活出来るよう支援を行っています。

就労継続支援B型は、「木工」「園芸」「縫製」「機器解体」「受注」などがあり、地域の方々から多種多様な仕事の依頼を頂き、個々の能力に合わせて提供を行っています。

「生活介護」事業では、生活支援、身体介助及び機能訓練

をはじめ、ちぎり絵製作や音楽活動と、就労継続支援B型が行っている作業に参加する機会も設けています。

その中でもちぎり絵製作には力を入れており、昨年行われた東京パラリンピックの習志野市採火式では、背景装飾製作に携わりました。

お時間がありましたら、是非ホームページをご覧ください。

広報担当 清水 史絵

## 千葉ブロック 株式会社 ベストサポート

～みんながつながり支え合える社会をフクシで作る～

当法人は千葉県知的障害者福祉協会の中では珍しい「株式会社」です。本来は加入できなかったところ、会長をはじめとする役員の皆様のご協力で、加入することができ、今に至ります。身は株式会社ですが、心は社会福祉法人です！

さて、ご紹介させていただきます施設は、「ITSUMO」です。生活介護事業所として平成31年4月にオープン。障害支援区分の平均は5.3です。本事業所は、法人として大切にしている「ステージごとの当たり前」を軸に、「働いて賃金を得る」を目指しています。また、障害があっても「支援される側」に終わらず、「支援する側」にもなれることを体現してきました。「仕事」は、5つです。地域の困りごとを解決する「①御用聞き」、地域の子どもたちの為の「②駄菓子屋」、SDGsを軸とした「③物々交換屋」と「④牡蠣の粉の販売」、地域の方々が集う「⑤カフェ」です。

上記のうち3つほど、具体的にご紹介させていただきます。①の御用聞きは、高齢者等のお宅で重い物を運んだり、草取りをし、5分100円の作業代をいただきます。人気のサービスでご要望が多く、かなり稼ぎます。②の駄菓子屋は、900名近い生徒数の小学校から徒歩5分のところ



ITSUMO 外観



駄菓子屋 店内の様子

にあります。その子どもたちの放課後の遊び場として賑わっています。③の物々交換は、ご家庭で不要になったものを地域内で循環させ、再使用してもらう仕組みです。不要な物を持ってきてもらい、必要な物を持ち帰ってもらい、交換手数料100円をいただいている。

このような取り組みで、生活介護ではありますが、毎月の平均給与は一人8,000円程度（直近の11月は15,855円、最高額2022年3月の16,206円）をお渡ししています。

これからも地域のニーズにお応えし、共生社会実現のために邁進してまいります。

代表取締役 竹嶋 信洋

## 手をつなぐ作品展日程

### 北部地区

開催日 令和5年1月24日(火)～25日(水)  
会場 イオンモール八千代緑が丘  
2階アゼリア広場

事務局 大久保学園 新井

TEL 047-457-2462

FAX 047-457-4069

Email shien-ka@ohkubogakuen.or.jp

### 中部地区

開催日 令和5年5月19日(金)～21日(日)  
※会場の都合により次年度5月、2月に開催予定

会場 ユニモちはら台  
事務局 中野学園 西山

TEL 043-228-6114

FAX 043-228-4651

Email ashitabateotuna-gu@yahoo.co.jp

### 南部地区

開催日 令和5年2月24日(金)～26日(日)  
会場 イオンモール富津1階アゼリアコート  
事務局 ある里学舎蔵波 伊東

TEL 0438-64-0890

FAX 0438-64-0896  
Email shimo-suke.ito@yukeikai.jp

## 千葉知協トピック

### CIDA 夏季陸上競技教室

本協会が後援した、CIDA 夏季陸上競技教室（主催：千葉県知的障害者陸上競技協会＝CIDA）は、令和4年8月21日(日)千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で行われました。8月下旬という、いつもであれば残暑厳しい頃ですが、

当日は曇りで時折小雨も降り、最高気温も30度に届かず、陸上競技を行うには絶好のコンディションとなりました。

本大会は、千葉県障害者スポーツ競技団体支援事業の一環で、陸上競技の体験会としてもおこなわれました。参加者は総勢150名で、そのうち競技者は93名と夏季の陸上教室としては過去最大の人数となりました。



午前中は陸上競技の基本を学び、その後昼食をはさんで午後3時頃まで、延べ149名の方々が、100mや1500m等で自己記録に挑戦していました。また、今回

は第22回全国障害者スポーツ大会（いわゆるパラ国体、宇都宮市で10月29日～31日に開催）の知的障害者陸上競技の千葉県代表選手が、全国大会の前哨戦として参加し、例年ないハイレベルな大会となりました。

### 市川大野高等学園 初優勝!! 千葉県ゆうあいプロジェクトボール選手権大会



コロナ禍で開催中止を余儀なくされていた「朝日新聞社杯県ゆうあいピッタソフトボール選手権大会」が

3年ぶりに9月9日・10日の2日間にわたり成田市大谷津運動公園野球場他で開催されました。

大会は無観客としコロナ感染防止対策に重点を置きましたが、参加チームは10チームと例年の半分以下。I部・II部とも5チームのトーナメント戦となりました。久しぶりの公式戦の為か選手が活躍する姿は今まで以上に活き活きしていると感じました。

I部決勝戦は、市川大野高等学園対となりましたが、ソフトボールクラブの戦い、両者譲らず得点す



10月6日、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で「第29回千葉県障害者フライングディスク大会」が開催されました。3年ぶりに開催されましたが、朝から雨が降り気温が低いコンディションでしたが、久しぶりのFD大会を参加者の皆さん

## 第29回 千葉県障害者フライングディスク大会

里学舎Ⅱ部決勝戦は、オリーブハウス対千葉市手をつなぐ育成会の戦い。打力に勝るオリーブハウスが2大会連続優勝に輝きました。3位はみのり福祉会A



会規定により抽選の結果、市川大野高等学園が初優勝に輝きました。



10月29日～31日、宇都宮市にある栃木県立総合運動公園をメイン会場にし、第22回全国障害者スポーツ大会、「いちご一會とちぎ大会」が開催されました。千葉県からは総勢81名の選手を派

## 全国障害者スポーツ大会「いちご一會とちぎ大会」

団体総合	
(男子)	(女子)
第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑	第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑
（男子）	（女子）
第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑	第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／第3位 佐倉福葉苑
（男子）	（女子）
第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑	第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／第3位 佐倉福葉苑
（男子）	（女子）
第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑	第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／第3位 佐倉福葉苑

さんに楽しんでいただきました。

団体戦の成績は以下のとおりです。

アキュラシー団体

(男子)	第1位 八日市場学園／第2位 佐々木クス
(女子)	第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／第3位 ひかり学園アネ

ディスタンス団体

(男子)	第1位 八日市場学園／第2位 富里福葉苑／第3位 佐倉福葉苑
(女子)	第1位 富里福葉苑／第2位 八日市場学園／第3位 佐倉福葉苑



新しい年を迎えるにあたり、皆様大変な一年間、本当にご苦労様でした。2023年もどうぞご協力頂きますようお願いいたします。千葉協会の和と結束がより強い活動となりますように。皆様のご健康を祈念いたします。

## 事務局便り

事務局長 千日 清

今年一年を振り返ってみると…。支援、研修、職場、家庭、趣味、その他諸々。うん、来年は今年以上の一年に出来るかも。出来るかもを実現させる一年にしよう。

## 編集後記

くすのき苑 秋山 直樹

今年一年を振り返ってみると…。支援、研修、職場、家庭、趣味、その他諸々。うん、来年は今年以上の一年に出来るかも。出来るかもを実現させる一年にしよう。